

令和7年度 第2回 加古川市地域公共交通会議 議事概要

○開催概要

開催日時	令和8年1月19日（月） 午前10時から午前10時30分まで
開催場所	加古川市役所新館10階 大会議室
出席者	委員20名中18名（代理出席1名）、オブザーバー6名、事務局6名、傍聴2名
議事次第	1 開会 出席状況報告 2 協議 協議第1号 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）に関する事業評価について 3 報告 報告第1号 コミュニティ交通の運行状況について 4 閉会

○議事概要

<p>■ 協議第1号 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）に関する事業評価について</p> <p><説明概要></p> <p>国土交通省では乗合バスの地域間幹線系統の運行費等に対し、「地域公共交通確保維持事業」に基づく交通事業者等への補助を行っている。本市においても国及び県と協調して補助を行っているため、当該事業について、事業評価を実施する。事業実施の適切性について、事業が計画に位置づけられたとおり適切に実施されたため、Aとし、兵庫陸運部に評価書類を提出する。提出後の軽微な修正については、事務局に一任いただきたい。</p> <p><意見・質疑応答></p> <p>なし。</p> <p>■ 報告第1号 コミュニティ交通の運行状況について</p> <p><説明概要></p> <p>市コミュニティ交通のかこバス、かこバスミニ、チョイソコかこがわ、上庄くるりん号における令和6年度の利用者数、運行経費等について報告を行った。</p> <p><意見・質疑応答></p> <p>(委員) コミュニティ交通の利用者が増加している要因について教えてほしい。また、運転免許証の返納との関係性はどうか。</p> <p>(事務局) すべてのコミュニティ交通に言えるが、コロナ禍での減少から回復傾向にある。かこバスミニについては、路線の増加による影響もあり、チョイソコについては、登録者数が少しずつ増加し、認知されてきていると考えている。</p> <p>なお、運転免許証の返納との関係性は現時点で明確にはわからないが、利用者の増加につなが</p>

る可能性はあると考えている。

(委員)かこバス鳩里・尾上ルートの利用者が堅調に伸びているが、周辺の住環境の変化や町内会での呼びかけ等、増加した要因はあるか。

(オブザーバー)

尾上公民館前の利用が増えており、近隣企業の通勤需要が増している可能性がある。

(委員)かこバスミニにおいて、人件費が上昇したとあったが、その他の事業についても人件費の上昇はあったか。

(事務局)チョイソコかこがわでも、タクシー事業者の運行経費が上昇している。上荘くるりん号については明確な変化はない。

(委員)かこバスの今後の見通しや改善点等、具体的な課題はあるか。

(オブザーバー)

公共交通網図を見ると、かこバスの近接エリアにおいても、なお交通空白地が残っている地域が見受けられる。今後、新たなコミュニティ交通が開設される場合には、かこバスが準幹線としての役割を担い、拠点において新たなコミュニティ交通と結節する交通体系を構築することで、双方の利用促進を図ることが望ましいと考える。また、日常の安全運行の面では、かこバスの交通事故抑制に努め、市民からの信頼を高めるとともに、市民の移動手段としての役割を安定的に果たせるよう継続的に取り組んでいきたい。

(事務局)今年度より定期券を導入する等、かこバス利用者の利便性向上に努めているが、市の財源にも限りがあるため、今後の持続可能な公共交通の実現に向け、利用者負担等についても協議会で議論させていただきたい。

(委員)かこバスは利用者数や運賃収入が増加しており、コミュニティバスでは、ここ数年でもあまり見ない良い成績だと思う。事業評価をして終わりではなく、引き続きこの傾向を維持できるようにさらなる利用促進に努めてほしい。

以上